

立春、春の輝きに向かって

校長 石村直義

2月3日(月)は立春。すでに1月中に自生の菜の花を目にし、日中の陽光で気温が上がり、確かに春を思わせる日もありますが、まだまだ厳しい寒さを感じる日が多く、急に気温が下がって雪の天気予報を耳にすることもあります。長崎市の日の出の時刻はまだしばらく7時以降となっています。

1月から、進路を拓くための入学試験が本格化しました。本校の中学・高校3年生は一足早く進路が決定している人が多いですが、希望進路実現のためにこれから試験に臨む人もいます。続く努力と緊張に応援の思いを深くします。

春の足音を耳にしつつも、入試という試練の時を過ごす、なかなか夜が明けない、厳しい寒さも続く。生活の流れと自然環境に似たような様子があるこの2月、第77回の高卒卒業式を行います。みなさん、卒業おめでとうございます。

コロナ禍の制約ある中で始まった高校生活は、残念で悔しいこともあったことでしょう。しかし、この活水で過ごした3年間の学びと交わりは、間違いなくこれからの歩みを照らす光になる。共に過ごした仲間が一生の友となる。あの時に勇気づけられた忘れられない一言がこれからも自分の心を支え続ける。きっとそうなります。不自由だと思ってきた環境が、実はどれだけ守られた安らぎに溢れたものであったか、その渦中にいる時には気づかなかったことを知るという経験もするでしょう。

高校卒業は喜びの旅立ちであると同時に、自覚的な歩みを前にした緊張の時でもあります。親元を離れた生活を始める人は自由を思い描きつつ不安も大きいかもしれない。しかし、困難の中にも祝福をもって共に歩み守ってくださる方のあることを思い出してください。夜明けの時刻が少しずつ早くなり、気温も徐々に上がり、梅の次には桜の花芽が膨らんでくる、そんな春の訪れも、不安を抱えながらも前向きに歩もうとする一人ひとりを後押ししてくれます。

学年末のまとめの時期を迎える1・2年生の皆さんにも、次の学年に向かい、今するべき仕上げに熱心に取り組んでほしいと思います。苦労を重ねてもなかなか結果が出ないことがあっても落ち込む必要はありません。努力したことは裏切らず、明日の自分の糧になるのです。

高校卒業生に贈る言葉

鈴田先生 学年主任・A組(特別進学コース)担任

僕の好きな言葉は「完全燃焼」です。言い換えると「後悔しない」ということになるでしょうか。何かに備えて余力を残すということも大切ですが、この余力が後悔につながると思うのです。これから直面するいろいろなことに対して、「もっとこうすれば良かった」と思わないで済むように「完全燃焼」しましょう。



喜明先生 A組(英語科)担任

何か少しでも成長できたと思えることがあればいいのかな。今は気づかない成長も年を重ねて、あの頃の些細な経験や学びが糧になっていると感じることがあるかもしれないね。そしてまたいつか今より成長した姿で出会えることを願って…☆



波多野先生 B組(総合進学コース)担任

卒業後、活水の丘を見上げて赤い屋根の建物は見たときに思い出すぐらいいい。ああ、私の母校だったと思った時に友の顔が浮かび、いい思い出だけを思い出したらいい。友達と毎日、何も考えずに生きていた、何も心配なく過ごしていた。自分の周りの親や先生に感謝することなく、当たり前で権利だと思って、自由を謳歌していた。それでいい。その思い出はいつも忘れずに、自分の中で温めるだけでいい。



岩永先生 C組(総合進学コース)担任

❀ 冬来たりなば春遠からじ ❀ ご卒業おめでとうございます！自由自在に、しなやかに、自分を信じて一歩ずつ前へ。新たな未来へ向かい、素敵な人生を歩むことができますように！



増田先生 D組(総合進学コース)担任

ご卒業おめでとうございます。これからの人生でも、新しい出会いと別れ、挑戦のチャンスがたくさん与えられるでしょう。「自分がやりたいこと」「自分にできること」「自分にしかできないこと」色々悩みなながらも突き進んで下さい。人の生き様にはルールはありません。今後のご活躍を楽しみにしています。



古田先生 (キャリア形成支援部)

卒業おめでとうございます!!
みなさんは、「年を重ねて成長する」と聞くとどのようなイメージをもちますか？
アフリカのブンジュ村の人々は次のように言います、「人は年を重ねれば重ねるほど“人間らしく”なっていく」と。彼らは、失敗したとき、「人間らしいね。かわいいね。」と失敗した人に声をかけます。みなさんも、人間らしい人になってほしいな。

2月行事予定

- 11(火) 建国記念の日
- 12(水) 高三登校日(～14日)
- 13(木) 高校卒業礼拝
- 14(金) 学年末者査時間割発表
- 14(金) 高三卒業式
- 20(木) (高IIのみ参加他自宅学習)
- 20(木) 高II学年末者査(～26日)
- 20(木) 中学学年末者査(～25日)
- 23(日) 天皇誕生日
- 24(月) 振替休日
- 26(水) 中1・3学特別行事
- 26(水) 中2修学旅行(～28日)

3月行事予定

- 1(土) 高IⅡ特進土曜課外
- 2(日) 第3回英検(二次)
- 3(月) 高II金融経済教育授業
- 3(月) 高II金融経済教育授業 (家庭基礎授業内)
- 6(木) 中学ダンス発表会
- 8(土) 高IⅡ特進土曜課外



人権教育学 「決めつけない・比べない・可能性を信じる」

1月22日(水)6校時に長崎市男女共同参画推進センターアマランスの派遣講座として、村上暁子先生を講師に迎え、講演を聞きました。最初に「無意識の思い込み」にはどんなものがあるのか説明してくださり、生徒たちはそれぞれ自分にどんな「無意識の思い込み」があるのか探しました。「東京の人は冷たいと思ってしまう」など日常生活の中で思いつく例を、生徒たちが張り切って発表してくれました。後半は、「無意識の思い込み」がすべて悪いわけではなく、それに気づき、「決めつけない」「誰かと比べない」「自分の可能性を信じる」ことが大切だとお話ししてくださいました。

(三河悠希子)



留学生～中国から～

活水に来てからあっという間に3ヶ月が過ぎました。初めて活水に来た時は、未知の環境にとっても緊張していましたが、先生方や友達が、温かく迎えてくれ、分からないことを丁寧に教えてくれました。そのおかげで、私は一人ではないことを実感することが出来ました。この3ヶ月、たくさんの日本文化を体験し、皆さんと素晴らしい思い出を作ることができました。とても感謝しています。これからもどうぞよろしくお願いいたします！

(張佳瑩) (国際交流基金 国際対話部 心連心 中国高校生長期 招へい事業第16期生)



放送部 全九州高等学校総合文化祭福岡大会

12月13日から15日にかけて行われた、第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会第46回九州高校放送コンテストにおいて、Ⅱ年A組特進の坂井みきさんが朗読部門に出場し、見事優良賞をいただきました。坂井さんは満足のいく読みができたことを喜びつつも、次はもっといい成績を残したいと語りました。ほかの放送部員とともに、日々の活動と、次の大会に向けての練習を頑張っていきます。

(馬場彬)



今月の聖句

「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように」コリントの信徒への手紙二 13章13節

礼拝の最後に牧師が「祝祷」をします。活水中高では、毎朝の礼拝ではせずに、卒業式やクリスマス礼拝など特別な礼拝の時だけしています。この祝祷は、私たちから神様への祈りではなく、神様から会衆(礼拝に出席している人)への祝福の宣言です。私は卒業式での祝祷をするのがとてもうれしいです。活水を巣立っていく卒業生1人1人の人生を神様が必ず一緒にいて導いてくださると確信を持って宣言しています。

卒業生のみなさん、どんな時でも神様が皆さんと一緒にいて、道を備えてくださることを忘れないでください。もし、つらいことがあっても、どうぞ、聖書の言葉を思い出してください。皆さんの心に蓄えられた聖書の言葉が皆さんに、神様が備えてくださる道を教えてくれるはずですよ。

(三河悠希子)

高等学校新人体育大会サッカー競技

1月18日(土)～25日(土)まで県新人戦が行われました。1回戦、鎮西学院高等学校と対戦し、0-10で敗退となりました。大差での敗退となりましたが、高校生が11人と厳しい中、助っ人として、一緒に戦ってくれた仲間のおかげで、戦い抜くことができました。また、チームとしては、多くの課題や今後取り組んでいくこと、今後の目標など、明確にすることができた大会でした。今回の結果を前向きに捉え、今後の大会や高総体に向け、チーム一丸となって取り組んでいきたいと思えます。今後とも応援よろしくお願いいたします。

(江上晴香)



寮クリスマス会

12月19日(木)に活水寄宿舍のクリスマス会がありました。クリスマス会では準備くださったバイキング形式の食事を友達とお喋りをしながら美味しく頂きました。食後は寮生全員でかくれんぼやイントロドンなどのゲームをして楽しみました。また、各自プレゼントを用意しプレゼント交換も行いました。普段はそれぞれ部活動や勉強に取り組んでいるため一緒に食事をしたり遊んだりする機会はなかなかありませんが、寮生全員で楽しいクリスマス会をすることができ寮生活での思い出がまたさらに増えとても有意義な時間になりました。

(石崎小梅)



吹奏楽部 アンサンブルコンテスト

12月26日(木)中学校の部、12月27日(金)高校生の部の県大会が、長崎市ブリックホール国際会議場で行われました。中学生の部はフルート1、クラリネット2の木管三重奏、高校生はピッコロ1、フルート1、クラリネット2、オーボエ1、ファゴット1、アルトサクソ1、バリトンサクソ1からなる木管八重奏で出場しました。定期演奏会が近かったためあまり練習は十分に出来ていない状態でしたが結果は金賞、そして県の代表に推薦されました。九州大会は2月8～9日、宮崎市民文化ホールで行われます。活水らしいきらびやかなサウンドをホールいっぱい響かせるよう練習に取り組みます。皆様応援よろしくお願いいたします。(杉町たまみ)



大会等成績

<新体操部>

長崎県高等学校新人大会新体操大会

個人2位 平井彩摘

<放送部>

全九州高等学校総合文化祭福岡大会放送部門

九州高校放送コンテスト福岡大会

朗読部門 優良賞 坂井みき

<個人>

全九州高等学校総合文化祭福岡大会 弁論部門

九州高等学校弁論大会福岡大会

優秀賞(第4位) 竹内伶

<卒業生顕彰>

長崎県高等学校文化連盟卒業生顕彰

村本春音奈

長崎県高等学校体育連盟卒業生顕彰

道越愛純

私立中高連合会卒業生表彰

中村輝良莉

(岩永崇史)